

絆だより

高齢社会を支える地域の絆づくりの会

第61号(6月号)

発行 2021年6月1日

編集発行 代表 大井利雄

連絡先

EMAIL: t-ooi31@jcom.zaq.ne.jp

TEL:090-6949-8984

略年表からみる国立市の福祉施策 将来のためにできることは 大井利雄

コロナ感染症増加の勢いがとまらない。1月をピークとして2月に一旦下がったが、その後の患者数は昨年同月を上回っている。市内団体も活動を自粛しているところが多い。早く落ち着くのを祈るのみ。

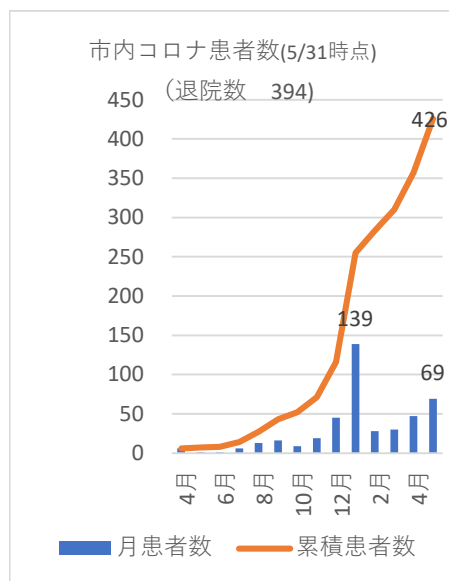
室内での会合でも人数を制限し三密を避ける、オンラインや、戸外での活動に工夫をこらして、再起を図っている団体もあり、落ち着いた後の活動が楽しみである。一方管理コストがかかり、安定した居場所がないため閉鎖せざるを得ない居場所もでてきている。空家の活用ができないか、管理・コスト・人員を含めて検討すべき課題の一つであろう。筆者は「ひらや照らす」を運営しているが、コロナ禍で、会員に高齢者も多く、週の半ばは空けざるを得ない。しかし恵まれた環境を生かすべく、コロナが落ち着くまで、モチベーションを維持して活路を開きたいと考えている。

今月号紹介の石神自治会は、伝統を維持しながら、地域歴史をさらに学び、新しい住民をも呼び込むためのイベントを工夫している。NHK 学園は、通信主体で発展、現代に通じるノウハウを保有している。地域への溶け込みも図っている。見習いたい。

国立市の社会福祉施策を作表した。限られたスペースの中に、重要なキーワードがならぶ。テーマごとに年度をおうと、社会の変革、法改正に対応してきた先人の努力が、次々と繋がる。

幼児、学童、若者、しょうがいしゃ、高齢者いずれにとっても、温かい気持ちをもって臨まねばならぬことに変わりはない。

介護認定・審査の流れを整理しながら、高齢者が23%、高齢者の21%が認定者という現状と、どこをきいても金銭から抜け出せぬ決め事に、公正さと、適正な判断の重要性を再認識する。1973年福祉元年といわれた高度成長下での老人医療無償化が夢のようだ。介護保険制度が始まった2000年以降の目まぐるしい社会変革は、介護予防重視、在宅ケアへの回帰の動きが進んでいる。今を生き、将来を担う人へのインフラ作りの寄与が高齢者にとってせめてもの恩返しだとすら思えるようになった。



絆だより61号 目次

2頁	石神自治会 紹介 三大行事を中心とした伝統の維持	大井利雄
3頁	「学びと育ち」を支えるNHK 学園—国立に59年の歴史を刻む	三好・大井
4頁	国立市社会福祉施策・活動関連の略表	絆の会
5頁	地域支援事業等の全体像、地域包括支援センターの役割	市発表資料
6頁	くにたち認知症ケアパス、国立市の認知症施策（認知症ケアウェイ）	市発表資料
8頁	介護保険関係会議体の全体図	市発表資料
8頁	要介護認定・審査の流れについて	大井利雄
10頁	まちの通信から	大井・宮武
10頁	絆の会4月度活動要点	
11頁	開催情報	
12頁	川柳	明石秀雄

石神自治会 紹介 三大行事を中心とした伝統の維持

(5/20 取材)大井利雄

【由来】石神は小学の下峯下、峯上、栗原からなる。「社宮司」の転訛したもので、ちょうど谷保村の真ん中あたりに位置している。西隣が中平、東隣は千丑に接している。現在の富士見台第三団地南側、南武線に接し、オトウカモリとも呼ばれる。西野一家が祀る稲荷の南の一帯で、市役所から国立三中へ行く道(石神道)の両側と、国立一小北側の甲州街道橋より東側をかこんだ地域。石神には、谷保天満宮の別当寺安楽寺六坊のうち、「邑盛坊」(ゆうせいぼう)の庵寺があり、その守護神として石凝(いしごり)売命が祀られていた。ご神体はヘイソクで、現在谷保天満宮宝庫に保管されている。むらの南部には「栗原(くりばら)」なる小路があり、栗原横町という小路が通っている。このあたりが、もと谷保村の中心地だったらしい。



石神自治会

【自治会の発足】

かつては、隣組・月番といった制度で地域の運営がなされ、特に冠婚葬祭・道普請・祭礼等に対応していた。昭和 37 年 4 月に 84 世帯で石神自治会として発足。現在約 150 世帯である。

【石神集会所】

二代目公会堂の老朽化に伴い、市のコミュニティー施設として生まれ変わり、平成 3 年 4 月に開所。運営管理は「石神集会所運営委員会」が市から委託(指定管理者制度)を受けている。

【体制】

会長、副会長、会計(収入、支出各 1 名)、監査 2 名、総務部、教養部(行事、盆踊り、子供会、谷保天満宮祭担当)、防犯部、厚生部からなり各部は部長、副部長が選出されている)、班長 15 名(現在 15 班)

*60 代後半になると、老人会(石神やよい会)へ入会する人が多い。

【石神自治会協力団体】

石神やよい会、花みずき会、石神実行組合、石神子供会。石神太鼓、国立市消防団第三分団

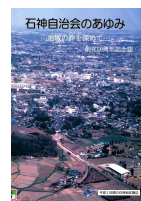
【自治会の行事】三大行事

- ①盆踊り(昭和 45 年西野敏雄さんの空地で始まり、47 年から浄水公園で実施)
- ②天満宮祭礼・万灯行列(9 月 25 日に近い日祭日)、昭和 54 年万灯復活 1 号作製、翌年子ども用の万灯を作った。子供神輿も保有している。
- ③石神文化祭(石神宮の祭礼 2 月 18 日に近い日曜日に開催)餅つきなどを行う。その他自治会員の親睦を図る目的で、イベントを行っている。過去には日帰り旅行、ボウリング大会、芋煮会、多摩川清掃を行った。

3 か月毎に、おたか森保全活動を行っている。

3 年ぐらい前から 谷保天満宮歴史勉強会、谷保歴史文化財めぐりを始めた。

【広報】平成 24 年 2 月に『創立 50 周年誌記念誌 石神自治会のあゆみ』を発行。定期的回覧物。



50 周年記念誌

【会費】現在年間 1200 円。2020 年度はコロナで活動ができなかったため、徴収しなかった。

【自治会の課題】

新しい居住者の増える中、組織率を維持向上し、自治会の目的を会員の方々と共有して取り組むこと(新しい入居世帯へは、会長、総務部長が勧誘に伺っている)

世代交代に伴う、培ってきた伝統の継承をしていくこと。

各自治会や町内会が認識している地域区分と、行政、通学区分の違いや地域区分の違い等による、自治会や町内活動への弊害を取り除く活動などが課題である。(石神道問題意見交換会継続中)

長嶋忍 自治会長の言葉

会員全員が楽しみ相互の福祉向上・親睦を深める企画を目指している。役員も固定化せず、若返りできるようにローテーションしている。酒飲みのみにならぬようなイベントを積極的に工夫している。この 3 年ほど、谷保の故事を重点に歴史に興味ある人と、事前に企画を行い開催している。

「学びと育ち」を支える NHK 学園一国立に 59 年の歴史を刻む

(訪問 5 / 21) 三好紀子・大井利雄

【NHK 学園設立】

NHK の放送を利用して通信による学校教育と社会教育を行うことを目指して 1962 年、NHK の出捐により国立市富士見台に設立された。初期の生徒は働きながら学ぶ勤労青年が中心であった。

現在は協力校をはじめ全国 40 か所のスクーリング会場と、5 か所の生徒の居場所「まなびや」を設置している。スクーリングは本校・協力校の他、集中スクーリングを行っている。また、特科（教養コース）を併置。併修生も受け入れている。上級課程として福祉の専攻科を設置していた時代もある。

【沿革】

1948(昭和 23 年)	新しい教育制度が発足し、通信教育が可能となり、全国に 82 の高校通信教育実施校が開校
1953(昭和 28 年)	NHK ラジオで「通信高校講座」放送開始
1960(昭和 35 年)	NHK 教育テレビで「通信高校講座」放送開始
1962(昭和 37 年)	学校法人日本放送協会学園（NHK 学園）の設置が認可される
1963(昭和 38 年)	国立市に開校、世界初の放送利用を前提とした広域通信制高等学校となる。
1988(昭和 63 年)	高等学校専攻科・社会福祉コース設置
1989(平成元年)	通信制高校が 3 年間で卒業可能に
2003(平成 15 年)	ネット学習の「ベーシックコース」本格運用開始
2004(平成 16 年)	研究開発学校に指定された「Do it コース」開設
2011(平成 23 年)	海外でも学べる「海外 e コース」開設
2015(平成 27 年)	「登校コース」を開設
2018 (平成 30 年)	NHK 学園高等学校を校名に。新校歌となる。



1999 年改装の新校舎。さくら通りの景観に合わせた色合いで設計した。

【生徒数】（令和 2 年度 10 月時点）

普通科 本校 973 人、協力校 1,241 人、集中生(海外含む) 278 人

Do it 222 人、他 103 人。併修 85 人、特科 77 人。総計 2,979 人が学んでいる。

【現況】

①ネットで効率よく学ぶ ②週 3 日登校 ③不登校経験者のための独自カリキュラムで学ぶ生徒に、担任と先生方が丁寧に対応し、学び続けられるように連絡を取り、卒業率 92% を達成している。

ユニークなのは、NHK 高校講座を活用したネット学習のため、国立本校生徒約 1,000 人が、関東近県、中には新幹線を使って長野県からも通っていること。NHK ならではの多彩な講師とラジオや Web で出会い、本校では先生方の授業を受けるし、体育の授業を楽しんでいる姿をよく見かける。校内では、テッサン、クラシック音楽、語学など大人が生き生き学べるオープンスクールの受講生とも出会う。声をかけられたり、教室準備の手伝いをしたり、SAC (Social Activity Club) に入り国立の地域の活動の手伝いをしながら、コミュニケーション力を体験の中で伸ばそうと努力している子もいる。

【地域との連携】

先生方は地域に対する関心が高く、公民館と連携して子どもの問題を考える一連の学習会を開き、『くにペディア』と名付けた子どもの居場所ガイドブック発行の一員となった。また市内、国分寺など多摩地域で魅力的な食を提供する個人や団体の協力を仰ぎ、「N 学ランチ」を始めた。生徒はもちろん、受講生や地域住民もテイクアウトや食堂で食べることもできる。生徒に地域に開かれた環境と、失敗をしてもよい安心してトライできる場を用意したいと願い、知恵と工夫で生徒を支えている。



N 学ランチ風景



くにペディア

【新しい校歌（松本隆作詞）】は次のことばをリフレインする。

最高に面白いこと 生きるってそういうこと

最高に面白いこと ぼくたちは学んでいるんだ

◎NHK 学園高等学校 地域連携担当：寺澤真理子（数学科）小暮幸子（スクールソーシャルワーカー）

1962 年に国立で開校して以来、国立市民の皆さまに支えられてここまで参りました。それは、とても幸せなことだと感じています。本当にありがとうございます。今後も一緒にこの国立市で成長していきたいと思ひます。生徒とともども、どうぞよろしくお願ひします。ランチにも、ぜひお越しください♪



国立市社会福祉施策・活動関連略年表 (初版)

「絆の会」作表 2021-05

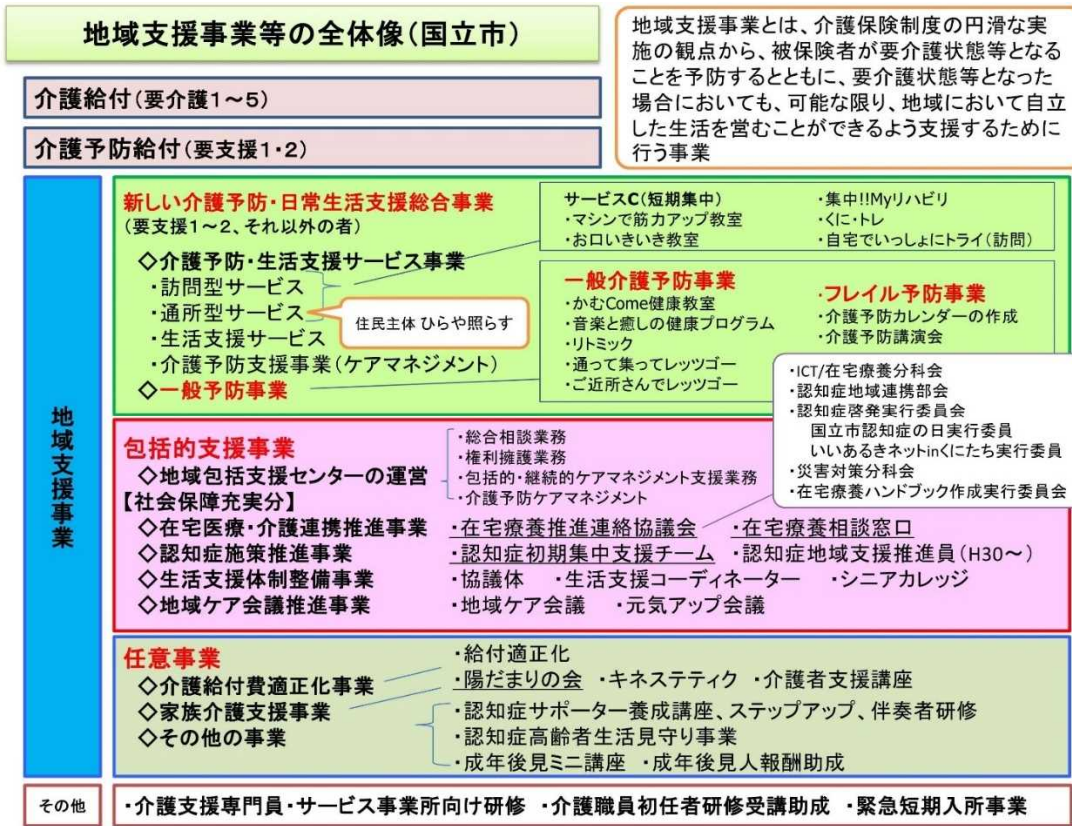
年	高齢者・認知症関連	しょうがい者・子ども家庭・若者 他
1955		3 ママの森幼稚園設置認可
1963	10 国立市「老人クラブ」創設	
1964		1 四小学校に市初の学童保育所設置
1965		5 公民館講座「若いミセスの教室」
1971		11 市の点字広報始まる
1973		10 保育室の運営について話し合い(公民館)
1974		4 四軒在家福祉館開館
1975		1 公民館内に「若者のたまりばコーヒーハウス」が開店
1976		7 心身障児在宅緊急一時保護制度発足
1978		8 心身障者福祉作業所「あさがお」開所
1980	11 高齢者教育事業、シルバー学習室始まる(公民館)	7 公民館障害者声援学級→現在の青年室
1981		12 「わいがや」営業開始
1984 S59		5 東日本初の東京都多摩障害スポーツセンター(国立音高跡地)オープン
1986	3 「心遊会」誕生(シルバー学習室から)	
1987 S62	8 「すすらん」創立(2002年NPO法人登録)	1 国立市に棕櫚亭「開所 10 公民館講座：いじめ社会と教育
1989 S64	5 国立市初の特別養護老人ホーム「くにたち苑」開設 7 65歳以上の高齢者の保養施設利用助成が始まる 12 「今、老人ホームとは」(公民館・心遊会共催)	7 第1回くにたちあさがお市を開く 9 くにたち心障者通園センター「あすなる」廃止
1990	5 高齢者配食サービス事業はじまる	4 心身障害者共同福祉作業所「大成舎」オープン
1994 H06	4 「すてつき」任意団体として設立(2001年NPO法人登録) 9 国立市地域保健福祉推進本部設置 10 公民館における高齢者学習のありかたについて(諮問)	
1998 H10	巡回型ホームヘルプサービス実施	
1999 H11	3 国立市地域保健福祉計画策定委員会設置 4 在宅介護支援センターオープン	
2000	4 介護保険課新設	10 障害者地域自立生活支援センター事業開始
2001 H13	1 第二次地域保健福祉計画策定	カンカール広場設置 西福祉館開館
2002 H14		精神保健ホームヘルプサービス事業 精神保健福祉窓口変更 第三次男女平等推進計画
2003		8 子ども家庭支援センター開設 子ども総合計画 作成 12 まちかど保健室 開始
2004	1 「高齢重症患者はどこへ」(公民館講座) 12 用語変更「痴呆」→「認知症」(厚生労働省)	
2005		4 「しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言」
2006 H18	4 地域包括支援センター(市直営型)設置 第1回認知症サポーター養成講座、介護保険運営協議会委員募集 9 国立市地域保健福祉団体等連絡協議会設置 10 小規模多機能型居宅介護事業所を指定(ウェルケア国立)	9 「健康ウォーキングマップ」作成 『くにたち子育て応援心援ガイド』発行
2008 H20		4 生活安定支援窓口設置
2009 H21		「たまぶらねっと」創設 4 成年後見制度に関する市長申立て検討会
2010	2 第1回家族間話し合いの場(現在は陽だまりの会に名称変更)	
2011 H23	7 在宅医療相談窓口設置、8 第1回在宅療養推進連絡協議会 12 認知症アクションミーティング	「障害者計画」と「障害福祉計画」の一体的に策定 地域での子どもの居場所づくり事業補助金
2012 H24	3 国立市第一次地域福祉計画 3 認知症カフェ 開催開始 7 「かふえかサムシカ」オープン 認知症サポーター養成講座 10 第1回認知症の日講演	4 虐待対策コーディネーター配置 10 しょうがい者虐待防止センター開設 福祉総合窓口の充実 後見人制度推進機関設置
2013 H25	認知症対応チーム結成(地域包括支援センター、在宅療養相談窓口) 2 『高齢者虐待防止マニュアル』発行 2 公民館・高齢者支援課共同主催講座「みんなで考えよう!地域講座」~2014/7 9 「在宅ケアを考える会」通信第1号 10 認知症医療支援診療所、『くにたち在宅療養ハンドブック』初版	7 国立市しょうがい者(児)自立支援協議会設置
2014 H26	1 介護短歌『短歌にこめた介護のおもい』発行(公民館) 4 地域介護予防活動補助金を活動団体へ交付 6 高齢社会を支える地域の絆づくり会議 10回(公民館共同主催)	HELPカード配布開始 4 福祉総合相談「ふくふく窓口」設置 4 公民館「中高生のための学習支援LABO☆クニスター」
2015 H27	3 『ほっと』なひろは高齢者居場所か「トッパ」発行、「絆の会」発足 4 認知症総合支援事業開始、地域ケア会議推進事業新設 4 生活支援等サービス体制整備研究会設置(~2017) 4 地域連携認知症疾患医療センター(立川共済病院) 4 「こ近所さんでレッツゴー」開始、 5 『介護を考える会』通信第1号発行	「国立市しょうがい者福祉計画」の評価・点検 9 二小学校に「自閉症・情緒しょうがい特別支援学級」設置
2016 H28	2 国立市第二次健康増進計画 3 生活支援等サービス体制整備研究会設置 3 「介護者家族の会」第1回開催 6 『絆だより』第1号発行、 9 地域ケアと生活支援 研修 10 第1期シニアレッシュ講座(修了者13名) 10 いいあるきネットinくにたち	9 「国立市誰もがあたりまえに暮らすまち宣言」条例制定
2017 H29	7 「ひらや照らす」開所 9 生活支援体制整備協議会設置 11 認知症伴奏者研修 11 フレイル予防講演、第1回フレイルサポーター養成講座	2 国立市しょうがいしゃ計画策定委員会設置 国立市しょうがい児福祉計画策定 くにたち子育てサポート窓口「くにサポ」開設
2018 H30	3 国立市第二次地域福祉計画 4 生活支援モデル地区設定、認知症地域支援推進員の配置 4 看護小規模多機能型居宅介護施設「オリーフ」開所	3 第5期国立市しょうがい福祉計画・第1期国立市しょうがい児福祉計画 3 『こども・わかものくにベディア』初版発行
2019 H31	3 国立市地域医療計画発行 5 介護予防自主グループ交流会、11 地域元気フェスタ開催	1 立市子ども・若者の自立を支える連続勉強会 『くにたち子育てサポートブック』
2020 R2	9 「ゆったりウォーキング」開始、10 「いい湯だな」開始 12 「認知症介護家族間話し合いの場」を(新)「陽だまりの会」と名称変更	3 『こども・わかものくにベディア』第2版発行 6 子ども食堂補助金交付
2021 R03	3 国立市地域包括ケア計画(第8期国立市介護保険事業計画・第6次国立市高齢者保健福祉計画)(3年毎見直し)	6 子どもの居場所づくり事業補助金交付
2022 R04	5 小規模多機能型居宅介護施設「国立あおやき苑 東2丁目の家」開所予定	

年	国立市社会福祉協会 他	市全般・☆国内外出来事・★法律・条例など
1951	4 社会福祉事業法に基づき自治体に社会福祉協議会(以下社協)を設置	4 町制施行、国立町となる
1952		1 くにたち文教地区指定
1955		11 国立公民館開館
1959		★1 国民健康保険法施行
1963		★7 老人福祉法成立、特別養護老人ホーム設立始まる
1965		11 富士見台団地入居開始
1967	1 国立市福祉事務所内に任意団体として発足	1 市制施行、国立市となる☆8 公害対策基本法公布
1968	12 広報誌『まごころ』創刊	☆12 3億円事件発生
1969	11 くにたち福祉開館が開館	★12 東京都老人医療無料回制度実施
1971	5 社協が、社会福祉法人として認可	★5 児童手当法公布 7 環境庁発足
1973		☆1 福祉元年(60歳以上老人医療無料化他)
1974	7 手話講習始まる	8 くにたち中央図書館で対面朗読サービスを開始
1977		至誠特別養護老人ホーム開館(国立市の12ベッドを設ける)
1980	7 国立市ボランティアセンター開設	7 国立高校甲子園へ
1981		10 市保健センター開設
1982	5 点字講習会スタート	12 くにたち市総合体育館開館
1984	4 国立市障害者センター開所	
1986	4 くにたち福祉会館改装オープン	
1987	4 市民参加型在宅福祉サービスである安心サービス事業スタート	
1989 S64		★4 消費税新設(3%) ☆12 ゴールドプラン(高齢者保険福祉推進10ヶ年計画)
1990	4 心身障害者訓練施設「あすなろ」開設	
1997		★12 介護保険法制定(自己負担1割) 消費税5%
1998 H10	8 ボランティアセンター通信「RABBIT」創刊	★3 NPO法成立 ☆ケアマネージャー(介護支援専門員)試験開始
1999 H11	9 『くにたち福祉マップ』完成(車イスが利用できる450店舗が掲載)	☆6 男女共同参画社会基本法公布 市のホームページ開設
2000 H12	10 子育てサロン「かるがも」開始 11 三宅島からの避難者交流会(泉自治会)	★4 介護保険制度施行、★老人福祉手当制度変更 6 国立市平和都市宣言
2001 H13	4 「ボランティア・市民活動制度」スタート 9 「2001 ボランティア国際年 in くにたち」開催	☆ボランティア国際年制定 4 「わくわく塾くにたち」発足
2002	9 法人のホームページ開設	12 国立市住基ネットより離脱
2003 H15	4 国立権利擁護センター準備室を設置	7 富士見台人間環境キーステーション(KF)開設
2004	7 「くにたちふるさとサロン」開始	4 くにたちNPO活動支援室設置
2005 H17	2 『くにたち災害ボランティアコーディネートマニュアル』作成	★介護保険法改訂で地域包括支援センター設置制定(第115条46) ★10 障害者自立支援法公布
2006 H18	9 『くにたち子育て応援ガイド』発行	☆4 コムスン事件 ★4 高齢者虐待防止法施行
2007 H19	4 第Ⅱ期国立市地域福祉活動計画「まごころプラン」完成 まごころイメージキャラクター「かれんちゃん」選出	
2008 H20	3 第Ⅱ次組織強化計画を策定 7 小地域福祉活動「縁側値を上げてご近所力を高めよう！」キャンペーンを展開	★4 後期高齢者医療制度創設 ☆9 リーマンショック、世界同時不況 11 国立市景観条例施行
2009	4 くにたち権利擁護センター開所	KUNIBO(くにたち地域外国人のための防災連絡会)
2010	4 「kuni-teen's」発行	☆日本65歳以上人口21%を越える
2011 H23	3~都民ボランティアとして東北各地へ職員派遣 12 「くにたちカルタ」完成	☆3 東日本大震災 ★高齢者住まい法改正(サ高住)激増
2012 H24		☆5 東京スカイツリー開業 ☆9 「高齢社会対策大綱」閣議決定 ☆9 「認知症施策推進5ヶ年計画」(オレンジプラン) ★10 障害者虐待防止法施行
2013 H25	3 第Ⅲ次組織強化計画を策定 10 伊豆大島での災害ボランティア活動支援に職員派遣	★4 障害者総合支援法施行
2014 H26	3 「くにたちの西がいちばんプロジェクト立ち上げスタート	★4 消費税改正(8%) ★介護保険法改正(一定以上所得者2割自己負担)、医療・介護総合法(要支援1,2の一部を介護保険直接給付から外す) ☆地域ケア会議推進事業の新設
2015	5 「くにたち西のまちマップ」完成	☆1 新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)
2016 H28	1 はじめての見守り活動講座実施 10 中地区をつなぐヒト・モノコト中博~中のまち博覧会~開催 小地域福祉活動、東っこ支援	3 国立市町づくり条例施行、国立市総合基本計画 ☆6 ニッポン一億総活躍プラン閣議決定、全世代型社会保障の実現へ
2017 H29	小規模福祉活動、なかなかいい会支援 9 第Ⅲ期国立市地域福祉活動計画「まごころプラン」を策定・発行 10 『コミュニティソーシャルワーカー活動報告書』発行	3 国立市公共施設等総合管理計画策定 4 国立市総合オンブズマン制度開始 ★介護法改正(所得に応じ3割負担)
2018 H30	引きこもり家族の会、不登校児童家族の会立ち上げ 10 『くにたち社協ガイド』発行 11 国立市社協創立50周年記念誌発行	
2019 H31 R元	2 地域福祉シンポジウム開催 5 福祉委員教育 9 くにたち福祉のつどい開催	4 国立市ソーシャル・インクルージョンのまちづくり「人権」「多様性」「平和」の基本条例施行
2020 RO2	小地域福祉活動、たまご食堂支援 居場所カフェ補助 7 『ひきこもり家族会支援報告書「ここから」2年間のあゆみ』発行 8 くにたちひとこえプロジェクト始動(新型コロナウイルス対策緊急支援事業)	☆2 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言 ★ 介護認定有効期間を4年まで延長
2021		
2022		

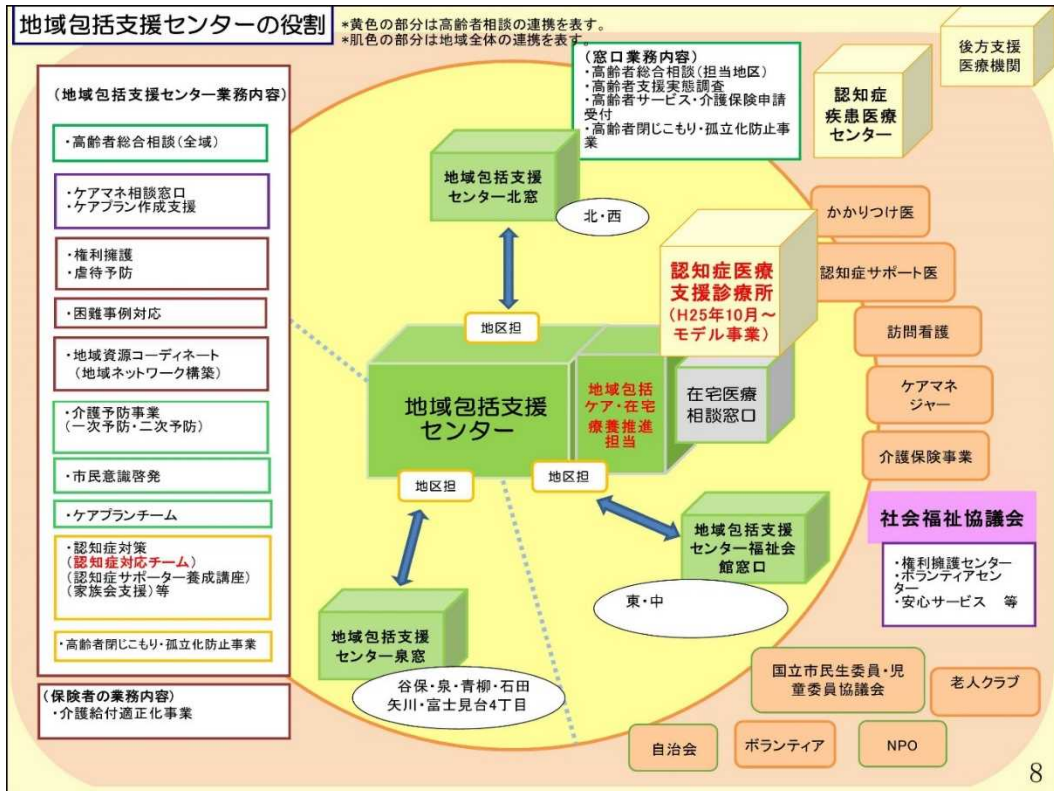
参考資料

国立市史・別巻(年表)、市報くにたち、くにたち市HP、事務報告書、くにたち公民館60周年記念誌
 国立市社会福祉協議会創立50周年記念誌、社協だよりまごころ、絆だより、『人口減少と社会保障』山崎史郎

地域支援事業等の全体像(令和元年度地域包括支援センターの活動報告書より)

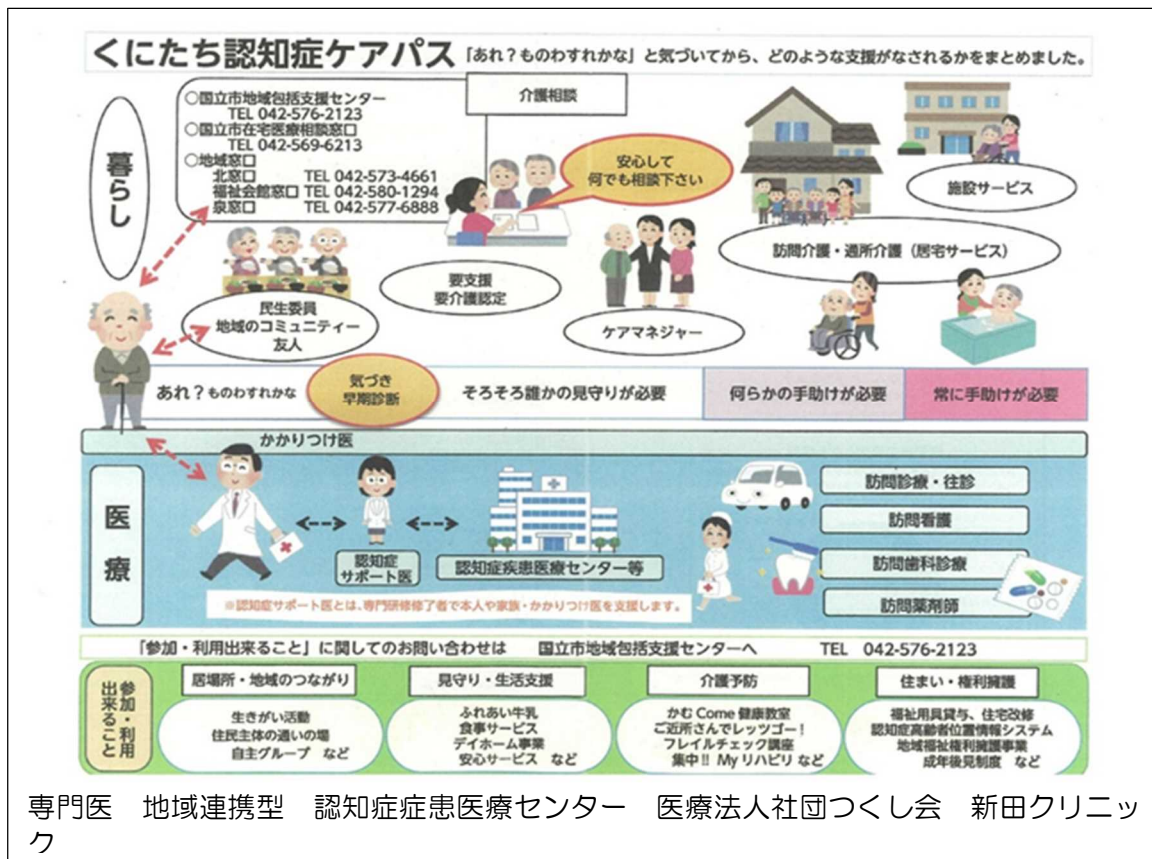


地域包括支援センターの役割(大川部長 認知症地域支援体制推進全国合同セミナー発表資料より)

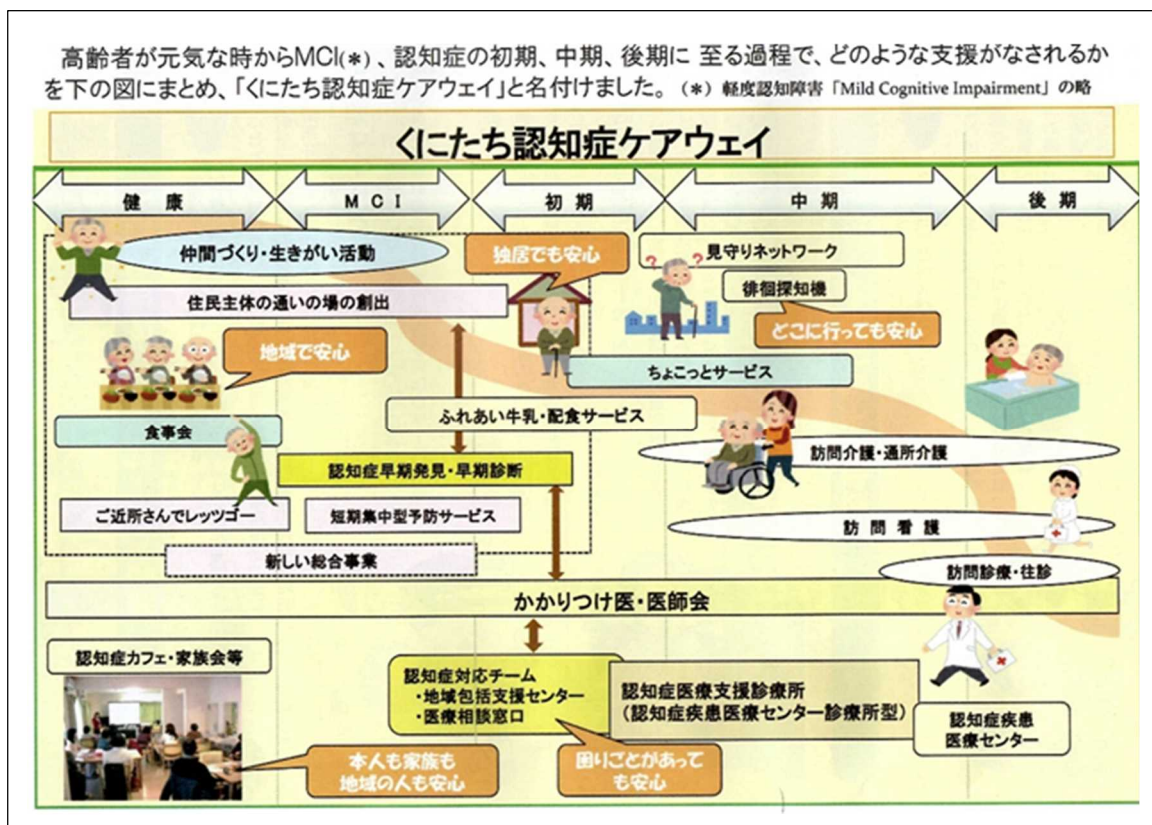


くにたち認知症ケアパス

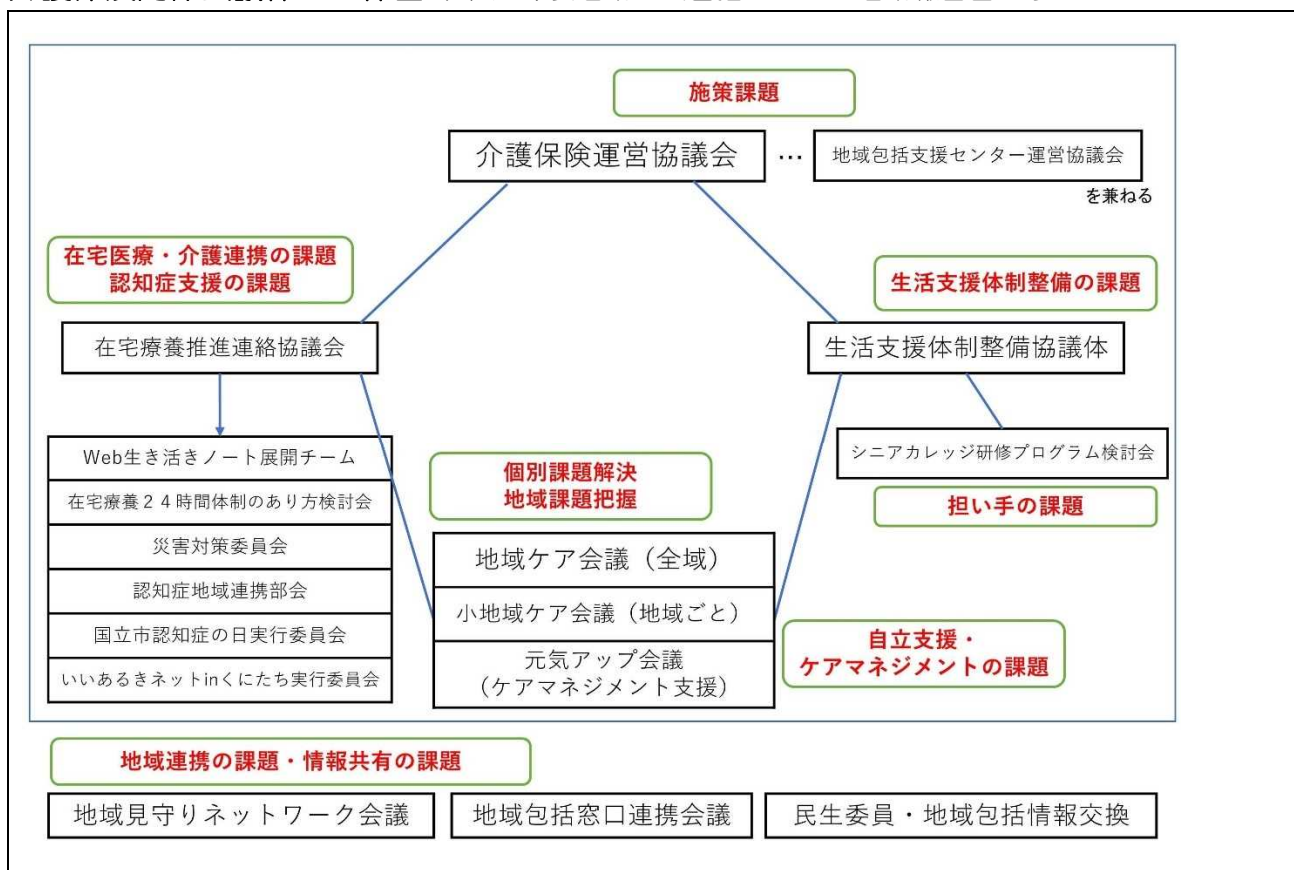
(包括発行パンフレット『認知症になったらどうしよう。なっても大丈夫!!』より)



国立市の認知症施策(第7期介護保険べんり帳から)



介護保険関係会議体の全体図(令和元年度活動地域包括センター活動報告書より)



要介護認定申請・審査の流れについて(第7期介護保険べんり帳付記・編集) 文責 大井利雄

1. 認定申請

- ・手続き 高齢者支援課の窓口または地域包括支援センターの地域窓口で行う。
- ・申請者 本人または家族が申請するか、成年後見人、地域包括支援センター、または省令で定められた指定居宅介護支援事業者や介護保険施設などが申請を代行することもできる。
- ・審査に必要なもの

要介護・要支援認定申請書 訪問調査連絡票 介護保険被保険者証、健康保険被保険者証(第2号被保険者の場合) マイナンバー確認書類、申請者の身元確認書類	}	申請窓口においてある。国立市 HP からダウンロードできる。労働厚生省標準の全国统一様式
---	---	--
- ・申請書のコンピュータ入力は介護保険係が行う。

2. 訪問調査と審査

- ・訪問調査

どのくらいの介護が必要か、国立市の訪問調査員などが自宅を訪問し、心身の状況について本人や家族から聞き取り調査を行います。全国共通の調査票に基づき、79項目の基本調査、概況調査、調査員による特記事項の記入を受ける。調査票の結果はコンピュータ処理され、どのくらいの介護サービスが必要かの指標となる「要介護状態区分」が示される(1次判定)。
- ・意見書の作成

本人の主治医に心身の状況についての意見書を作成する。主治医がいない場合は、国立市の指定した医師が診断する。

3. 審査

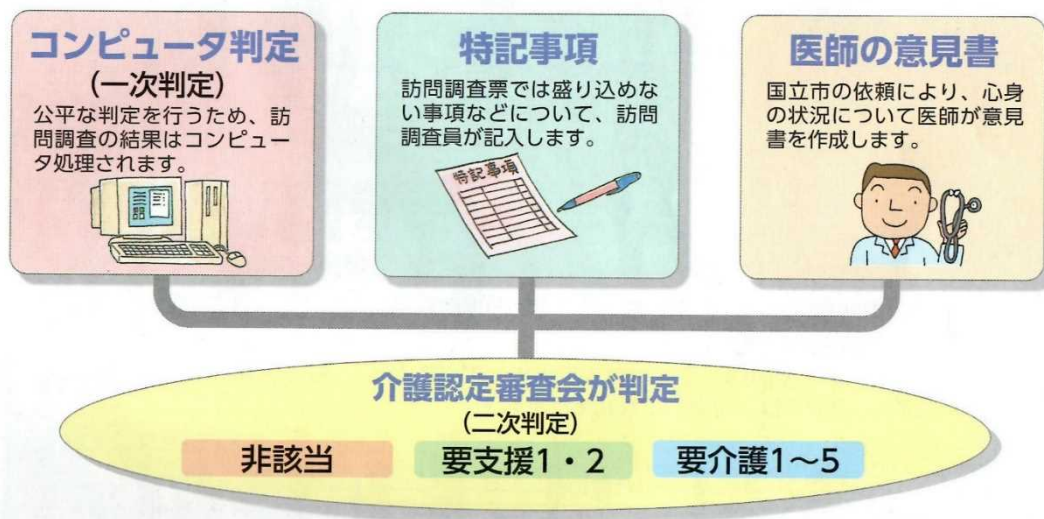
- ・一次判定 マークシートリーダーでコンピュータ入力されたデータで判定する。市区町村の訪問調査員による聞き取り調査をもとに、コンピュータが介護にかかると想定される時間(要介護認定等基準時間)を推計して算出し、この時間をもとに要支援1～要介護5に分類する。

・二次判定

コンピュータ判定の結果と、特記事項、医師の意見書をもとに、介護認定審査会が審査し、どのくらい介護または支援が必要か（＝要介護または要支援状態区分）を判定する。

***介護認定審査会**

国立市が任命する保健、医療、福祉の学識経験者 4 人で構成され、介護の必要性について、総合的な審査を行う。任期は 2 年。3 人以上出席で会は成立。事務局が 2 名



参加。判定結果を入力、翌夕方に申請者へ発送する。

客観的で公平な判断が行われるようにするため、本人と特定できる情報(名前・住所など)は伏せられるなど、配慮されている。

現在 審査会は 4 部会 (2 グループ) あり 1～2 H 位年間約 90 回開催。1 回で 30 名位を判定する。事前に配布された資料を読み込み審議。(要介護認定の判定適正化と平準化のために向上施策を継続して行っている)

新規	更新	変更	継続	合計	取下げ
721	1,910	507	50	3,188	131
23%	60%	16%	2%		

令和元年度 認定申請件数と内訳

4. 認定結果の通知

介護認定審査会の審査結果に基づき、介護保険の対象とならない「非該当」、予防的な対策が必要な「要支援 1・2」、介護が必要な「要介護 1～5」の区分に分けて認定され、その結果が記載された認定結果通知証が届く。

*なお、審査結果が「非該当」の方については、国立市が行うチェックリストに基づき、「介護予防・日常生活支援総合事業の対象となる場合がある。(非該当は、令和元年度で 47 人、申請者数の 1%程度)

- ・認定結果通知書に記載されている事項
要介護状態区分など、その理由・認定の有効期間など
- ・被非保険証者に記載されている事項
要介護状態区分など、認定の有効期間、支給限度基準額、介護認定審査会の意見など

5. 申請から判定通知まで

法では 30 日以内と指定されている。

主治医意見書と、調査同席者が遠方の場合、調査書の作成に日数がとられることが多い。

6. 認定結果に納得できないとき

要介護認定の結果に不服がある場合は、3 ヶ月以内に、東京都に設置されている「介護保険審査会」に申し立てをすることができる。また、認定後に状態が変化したと考えられる場合は変更申請することも可能だが、まずは国立市の高齢者支援課の窓口まで相談のこと。

7. 参考数値

・令和 2 年度 (9 月推定：現在集計中) 国立市要介護 (支援) 認定者数(単位 人)

	総数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
総数	3,771	690	470	1,012	474	419	369	337
1 号相当者	3,686	685	458	994	461	408	361	319

・令和 2 年度国立市高齢者状況

総人口 76, 280 人(令和 2 年 1 月 1 日現在)
65 歳以上人口 (1 号相当者) 17, 756 人 (高齢化率 23. 3%) (さらに 21%が認定者である))

まちの活動通信から

文責 大井・宮武

<p>まごころ 5月号 No.291 5.5 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひとこえプロジェクト「ごはんチケット」今年も実施。協力：国立市内飲食店 2. 2021 年度の重点取り組み（後見事業の体制整備、超短時間雇用のモデル実施、ボランティアセンター事業の充実及び体制強化、効果的・積極的な広報実施と体制整備、新型コロナウイルス禍における情報発信強化の取り組み、他 3. 資金収支決算（収入：約 5.9 億円、支出：約 6.1 億） 4. 第 10 期 ボランティア運営委員会がスタート 5. くにたち社協ひきこもり支援情報（「当事者」「家族」「CSW」の協力）
<p>「在宅ケアを考える会」通信 No71 5.8 発行</p>	<p>在宅で看たいとの相談を受けた事例の紹介。①家に連れて帰ろう！の決意②在宅生活を組み立てる。（ケアマネ・訪問看護ステーション、訪問医の決定）③在宅生活スタート（多くのサービスを実施、不要のものを切っていく。専門職の支援は必要。“在宅で看る”とは看護・介護・渉外・家事が重なる）④家族と医療者のズレ⑤あきらめず自分でやって納得する（訪問医・看護師との信頼関係上変えたいと、ケアマネに申し出）⑥最後まで気持ちのよい日常を保つこと。⑦やることをやった満足感、支える人の力⑧知識を持ち、やる気を持ち「在宅看取り」に向き合えば、応えられる専門医はいる。⑨介護力をどう、するか、「介護小規模多機能」の利用はゆとりを持って介護にあたれるかもしれない。</p>
<p>「介護者家族の会、みんなの部屋」通信 えんがわ・あい 第 15号 5.20 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016 年 1 月よりお借りしていたみんなの部屋が、3 月末で閉めることになった。 2. 会員の声から ①自粛生活について、飽きずに楽しんでいる、「人生の自粛」だけはしたくない。②介護、ケアはひとり、《小多機、看多機》その違いは医療行為の可否、当事者の置かれている状況や環境によって、選択肢の違いがある。 3. エッセイから①ジョナサン富士見台店のラストオーダー②捨てるか、捨てられるか
<p>公利連だより No8 発行 5.28 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月第一土曜日午前中の調整会のお手伝いする方を求めています。 2. コロナ禍での調整会は順調？ 短時間ですんだが、いくつかの齟齬がありました。 3. 前のように、会場において重なりの方の譲り合う調整会がいつ戻るか。 4. 総会(7月3日(土)9:00~10:00)の準備（昨年は紙面だったが今回は集まる）
<p>ほかほか 子育てひろば No185 6.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふたご交流会開催 6月10日(木) 午後2時~3時 2. 子育てひろばイベント 6月23日(水) 午前10:30~11:00 3. 「産後ママの身体のケア講座」7月1日(木) 午後2時~3時半 <p>いずれも子ども家庭支援センター 子育てひろば</p>
<p>くにたち福祉会館福祉センター - なごみ No.714 6.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 梅雨を楽しめる紫陽花スポット（国立市：谷保天満宮、府中市：府中郷土の森 2. 困りごと、気になることコミュニティーソーシャルワーカーが、お話を伺います。 3. あいうべ体操、鼻呼吸で健康に♪ あーいーうーべー 1日30セット目安に毎日
<p>ボランティアセンター 通信RABBIT VOL.133 6,7月号</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夏体験ボランティア 2021 について 2. ボランティア活動情報 3. 第 10 期ボランティアセンター運営委員会が始まりました 4. 新規事業「日本語の苦手な小中学生の学習支援」について
<p>国立市地域包括支援センター 福祉会館窓口通信</p>	<p>6月号は休刊</p>
<p>ひらや照らす通信 5月号 6.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひらやの里の総会(5/20)と、4 グループにより①ひらや照らすのコロナ禍での意義、②入会動機③イベントについて 盛り上がった討議を発表した。 2. イベント「介護短歌」の紹介 心の鬱積、苦しさを短歌に託し忌憚なく発散する。 3. 人紹介 武内紀子さん 七人の孫、在宅介護のご主人を二年。ひらや照らすにおける語り、イベントが介護に少し余裕を持つことができる貴重な居場所となった。
<p>みどり会会報 第 235 号 6.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 登録要援護者の様子を伺う。(要援護者支援部会長、同情報管理者、会長と共に 9 人の様子を訪問または電話で、ワクチン接種の予約他安否確認) 2. 公園協力会：5/9 北大通り清掃 32 名参加、次回は第二公園除草を予定 3. 防災部会 6/27「災害対応向上訓練」を五小校庭・市役所西側広場で実施予定 4. コロナ禍でのみどり会の活動について（要援護者について関係者と打ち合わせる） 5. その他:消化訓練(6/13)、ハイキング同好会（さいたま緑の森狭山自然公園）

絆の会5月度活動要点

大井利雄

1)	6月以降取材予定の確認(自治会、NPO 団体、学校関係)
2)	アーバンハウジング報告書作成について 9月 末まで 調査 第一次まとめ原稿 11・末 追加調査見直し 1・末 最終稿 3/20 提出
次回定例会 6月12日(土) 10:00~12:00 ひらや照らす	

情報【A:カフェ B:交流会(懇親会・食事会・手芸など)、B2 交流会(多文化共生、多世代)

C:交流会(介護・認知症・引きこもり) D:情報交換 E:健康他、F:講演会・講座・研修・映画会】

開催実施・内容は、コロナ防止対応など都合により変わりますので、事前にご確認ください。

区分	日	時間	題目・内容	主催	場所	連絡先/備考
C	土日祝日を 除き随時	09:00~18:00	お悩み相談会	不登校支援「ゆとりある」会	Zoom	✉ yutreal.info@gmail.com ☎ 070-8327-2673
B, C	6/01(火)~ 毎火土曜	13:30~15:30	ぺんぎんカフェ	ぺんぎんサロン	東 3-11-12-103	鈴木: 505-4140 参加費 300円(初回無料)
B, C	6/03~毎木 ~土曜	10:00~16:00	子どもから高齢者多世代交流の場	ひらやの里	ひらや照らす 富士見台 2	042-800-1661 プログラムにより実費あり
C	6, 7 月休会	10:00~12:00	情報交換	四丁目の集い	グランソリエ (E) 集会所	野村:090-9648-8497 第一木曜開催
E	6/03~毎木 曜日	10:00~	湯ったりウォーキング	地域包括支援センター	東地域防災センター、鳩の湯	地域包括支援センター:576-2123 市内在住 65 歳以上の方
B, C, E	6/04(金)~ 毎金曜	10:00~15:00	南区ふれあいカフェ 13時~いきいき百歳体操	南区公会堂自治会	南区公会堂	573-8880 南区公会堂、南区自治会員参加費無料
F	6/04(金)~ 毎金曜日	10:00~12:00	わぁーい親子リズムによつといで	新婦人の会	福祉会館 4 階 大ホール	浜 574-0661、会費 100 円(おやつ代)
E	6/04(金) 毎金曜日	午前・、午後の部、時間帯選択	ご近所さんでレッツ・ゴー!	地域包括支援センター	福祉会館、西福祉館など 6 か所	地域包括支援センター: 576-2123 毎金曜 参加無料 65 歳以上、少人数申し込み制
B, C	6/04(金)	13:15~16:00	くにたち地域ふれあいの会	国立人倶楽部 080-3484-4197	中地域防災センター	長藤: 事前予約要、資料代 100 円、次回 7/2
C	6/05(土)	13:30~16:00	分かち合い、支え合い、学びあいの場	ひきこもり家族会ここから	くにたち福祉会館	社協 042-580-0294 参加費 500 円 次回
C, E	6/05(土)	14:00~16:00	ほっとサロン	すてつき	ひらや照らす	すてつき事務所 576-3206 会費 100 円 次回 7/3
C, D	6 月未定 第 1 日曜	14:00~15:30	ふらっとカフェ:多世代交流の居場所	向こう三軒両隣@くにたち	ぺんぎんサロン(東 3)	吉田: 080-1136-6036 参加自由 飲み物代 100 円
C	6/10(木)	13:30~16:00	定例会	在宅ケアを考える会	福祉会館 和室大	山本: 575-9219 次回 7/8
C	6/10(木)	14:30~16:00	親の居場所	ひきこもり家族会ここから	ひらや照らす	社協 042-580-0294 次回 7/8
B	6/18(金)	12:30~15:30	おしゃべり会	中の会	中地域防災センター	吉田: 090-3508-3641、
E	6/11(金) 第 2, 4 金曜	10:00~12:00	「いい湯だな」 軽い体操と入浴	ゆかいゆ会	東都営住宅集会所、鳩の湯	包括福祉会館内窓口 042-580-1294 市内在住 65 歳以上
C, D	6/12(土)	10:00~12:00	月例	絆の会	ひらや照らす	大井:090-6949-8984
C	6/12(土)	13:00~14:15	メモリーカフェ	NPO パーソン・センター ード・ケアを考える会	ひらや照らす	村田: 080-2025-7416、参加費 100 円、要事前予約次回 7/10
C, D	6/12(土)	16:30~18:30	運営会議	ひらやの里	ひらや照らす	大井:090-6949-8984
C	6/13(日)	13:30~15:30	認知症カフェ	国立市在宅療養 相談窓口(注)	クラブ 1 階地 域交流センター	国立市在宅療養相談窓口: 042-569-6213 当事者関係のみ
注: 共催: 東京都地域連携型認知症疾患医療センター/医療法人社団つくし会新田クリニック/国立市						
D	6/13(日) 6/27(日)	14:00~15:00	情報交換	なかなかいい 会	中地域防災センター	社会福祉協議会: 飯田 580-0294 たまご食堂実施後
C	6/14(月) 6/28(月)	13:00~16:00	引きこもり当事者の会	国立市社協	福祉会館 3 階 和室	社協 CSW(前田口・飯田) 580-0294
B	6/15(火) 毎第 3 火曜	13:00~16:00	交流会	遊楽会	中平地域防災センター	高橋: 575-5272,

区分	日	時間	題目・内容	主催	場所	連絡先／備考
C	6/17(木)	13:00~16:00	介護者家族の集い	えんがわ・あい	福祉会館 3F	矢崎・田村：577-4122 参加費 200 円、参加自由次回 7/
C	6/18(金) 第 3 金曜日	18:30~20:00	くにたち依存症を考える会 輪かち逢い	くにたち依存症を考える会	福祉会館 3F 和室	担当：宮内 080-4142-4043、次回 7/16
B	6/19(土)	13:30~15:00	懇親会	難病障がい者と家族の会	ひらや照らす	佐伯：090-2163-7609
E	6/23(水) 30(水)	13:30~16:30	フレイルサポーター養成講座	地域包括支援センター	市役所 3 階	地域包括支援センター：576-2123 定員 20 名程度
B2, F	6/24(木)	19:00~21:00	アイダンさんがアゼルバイジャンを紹介	くにたち国際友好会 WING	会員個室 ZOOM による交流	和田：090-3497-2110、会員限定、非会員 300 円
E	6/28(月)	14:00~16:00	フレイルチェック講座	地域包括支援センター	福祉会館	地域包括支援センター：576-2123 定員 10 名(先着順)
C	6/30(水)	14:00~15:00	第 44 回陽だまりの会「フリートーク(仮)」	地域包括支援センター	福祉会館 3F	地域包括支援センター：576-2123 定員 20 名
C	未定	13:30~16:00	なつかしのフィルム映画上映会	元気会	東福祉館	社会福祉協議会：飯田 580-2123 予約申込 20 名
B	未定：世話人会にて代行	10:00~12:00	西のまち会議	くにたちの西がいちばん！PJ	西福祉館	社会福祉協議会：580-0294
B	再開未定 第 2 木曜	12:00~14:00	西の食卓	くにたちの西がいちばん！PJ	西福祉館	社会福祉協議会：580-0294 参加費 100 円昼食持参
B	未定	10:00~11:30	月例	ゆる仲の会	中地域防災センター	河村・酒向：576-0939 昼食有料、マスク着用、飲料持参
B, C, E	再開未定 毎火、木曜	10:00~17:00	矢川サロン(介護生活予防)	呼ぼう会	矢川北団地第 2 集会所	門前：080-6810-6104
B	再開未定 第 4 火曜日	18:00~20:30	飲みニケーション会	中の会	Daimo576-4281	吉田：090-3508-3641
B, C	5 月閉鎖	13:00~16:00	みんなの部屋(習字、手芸、麻雀、他)	えんがわ・あい	東 1-16-27	丹波 090-3247-8848 利用料 100 円
B	再開未定	13:00~18:00	サロンえんがわ 食事とお喋りの会	みんなの部屋【あい】		矢崎：090-3247-8848
F	再開未定	11:00~12:30	うたごえ倶楽部	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
F	再開未定	11:00~12:30	サロンコンサート	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
B	再開未定	17:00~19:00	にぎわい夕餉の会	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
B, C	再開未定	10:00~14:00	歌・体操・食事会 他	シニアプレイルーム	富士見台第 3 団地集会所	田村・富田：574-7463、毎月最終月曜、申込要
市の説明会・公聴会(変更もあるので、傍聴時間は、HP などで確認してください)						
未定	未定	国立市介護保険運営協議会		書面開催予定	事務局：高齢者支援課	

きずな折込川柳 お題 6 月(苺・いちご) 7 月(日傘・ひがさ) 選 明石秀雄

何時やるの ちらつかせてる 五輪かな (明石)	いなせ剣 散って土方 五稜郭 (今村)
一直線 地の果てまでも 豪快に (明石)	命かけ 力尽くして 極楽へ (大井)
イチローは 違いの判る 御仁です (明石)	意欲充ち 力の限り 後手踏まぬ (大井)
いいちこお ちょこに注いで ごっくんと (猪原)	勢いで 縮むことなし 碁盤の目 (大井)
いろいろの ちがい渦巻く 五輪かな (今村)	一度でも 近くで暮らした ご縁です (宮武)
いい夫婦 違いを埋めて 50 年 (今村)	一斉に 注射済まして ご安心 (宮武)
いいお尻 ちがいがボケる 50 過ぎ (今村)	

「絆だより」は次の場所においてあります。情報内容についてのご要望もお待ちしております。

市役所高齢者支援課、福祉会館(1F、2F、なごみ)、西福祉館、東福祉館、北福祉館、南区公会堂、南市民プラザ、北市民プラザ、公民館、中央図書館、ひらや照らす、芸小ホール、KF まちかどホール 他
バックナンバーは中央図書館、公民館、ひらや照らす、くにたち郷土文化館に、置いてあります。FB でも閲覧できます。

各団体の活動、発行定期冊子も逐次紹介致します。情報をお待ちしています。

